

## HDネットワークコンビネーションドームカメラ

型  
名

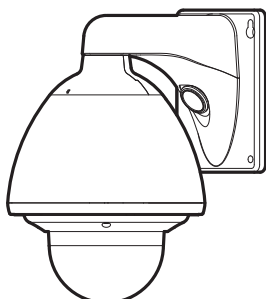
# VN-H657 VN-H657WP

## 取扱説明書 (設置/IP設定編)

VN-H657 (A)



VN-H657



VN-H657WP

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

同梱されているCD-ROM には、「取扱説明書」(pdf)、「API ガイド」(pdf)、「JVC-VN 検索ツール」、「JVC-VN-IP 設定ツール」、「README」(txt)が含まれています。

本書には「Internet Explorer を使った設定」や「統合ビューワの操作」などが記載されておりません。設定や操作について詳しくは、CD-ROM の「取扱説明書」をお読みください。最新版の取扱説明書は、以下のモバイルユーザーガイドまたはURLからPDFをダウンロードしてご確認ください。

### モバイルユーザーガイド

出先などからは、Android端末またはiPhone端末で取り扱い方法をご覧ください。

<http://manual3.jvckenwood.com/pro/mobile/jp/>

モバイルユーザーガイドは、Android端末およびiPhone端末に標準搭載のブラウザで閲覧することができます。



お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

# 安全上のご注意

**本機を設置する場合は、専門技術が必要となりますので、販売店にご依頼ください。取り付けねじやナットでの締め付けがゆるいと落下するおそれがありますので、確実に締め付けてください。**

## 十分な強度を持った場所に取り付ける

本機には高速回転部分があるので、振動や本機質量などを考慮し、十分な強度を持った場所に取り付けてください。

質量：約 2.0 kg (VN-H657)  
約 5.6 kg (VN-H657WP)

強度が不十分な場合は、振動のためモニター上で画ブレが発生したり、最悪の場合落下し、下に人がいた場合、重大な事故となる危険性があります。

## カメラを正しく取り付ける

必ず天井取付部を使用してください。(VN-H657)

落下防止ワイヤーは必ず接続し、取付ねじやナットはきちんと締め付けてください。

## 正しい電源、電圧で使用する

本機に電源を供給するには、AC24 V 50 Hz/60 Hz、または、PoE Plus (IEEE802.3at Type2)を使用します。正しい電圧で使用してください。

AC24 V は必ず一次電源から絶縁されたものを使用してください。

定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかにご相談窓口へ連絡してください。

定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。速やかにご相談窓口へ連絡して点検(有償)を受けてください。

本機は、本機自身や接続ケーブルへの誘雷に対しある程度の対応はしておりますが、万全ではありません。落雷の被害が考えられる取付場所では、必ず接続ケーブルにアレスターを追加するなどの対応をとってください。

## 定期的に点検してください。

取付部の劣化や振動によるねじのゆるみを定期的に点検し、落下の危険がないことを確認してください。

本機にぶら下がったり、ゆすったり、物を引っ掛けたりしないでください。過度の荷重がかかると、本機が落下してけがや事故の原因となります。

本機を改造しないでください。事故の原因となります。

内部に物を入れないでください。金属類や燃えやすいものなどが入れると火災や感電の原因となります。

# もくじ

## はじめに

安全上のご注意 .....	2
もくじ .....	3
特長 .....	4
正しくお使いいただくためのご注意 .....	6
添付物・付属品 .....	9
各部の名称 .....	10
VN-H657 .....	10
VN-H657WP .....	12
アラーム入出力信号について .....	13

## カメラの設置要件

動作環境 .....	14
ネットワークについて .....	14
映像について .....	16
設定ページについて .....	16
各ユーザーが使用できるページについて .....	17

## カメラの取り付け

設置・接続の準備(VN-H657) .....	18
カメラ本体の取り付け(VN-H657) .....	21
設置・接続の準備(VN-H657WP) .....	23
カメラ本体の取り付け(VN-H657WP) .....	25

## IP アドレスの設定

IP アドレスの設定手順 .....	28
Step1 設定用パソコンの IP アドレス設定 ....	28
Step2 Internet Explorer の設定 .....	29
Step3 カメラとパソコンの接続 .....	30
Step4 カメラの IP アドレスを設定 .....	31

## その他

こんなときは .....	33
保証とアフターサービス .....	36
仕様 .....	37

# 特長

## ■ PoE (Power over Ethernet) Plus に対応

PoE Plus (IEEE802.3at Type 2)をサポートしており、LAN ケーブルからの電源供給が可能です。

- ※1 VN-H657WP のヒーター使用時は AC24V 電源を使用してください。
- ※2 PoE Plus (IEEE802.3at Type 2 準拠)対応のハブまたは給電機器を使用してください。PoE (IEEE802.3af 準拠)対応のハブからは、電源の供給はできません。

## ■ デュアルストリーム・フルフレームレート配信の実現

フレームサイズ 1920×1080 と 640×480 のストリームを 30 fps で同時配信が可能です。

## ■ マルチエンコード

高パフォーマンスエンコーダの搭載によって、同時に 3 エンコードが可能です。

## ■ 高画質の実現

本機は、200 万画素 CMOS センサーと画面のザラつきを抑える 3 次元ノイズリダクションを搭載し低照度での高画質を実現しました。1080P (1920×1080) の高精細フル HD 出力に対応しています。さらにメガピクセル (1280×960)、HD720P (1280×720)、D1 (720×480)、VGA (640×480)、HVGAW (640×360)、SIF (352×240)、QVGA (320×240) の各解像度による出力が可能です。

## ■ 高倍率ズームレンズの採用

光学 18 倍の高倍率レンズによって、きめ細かな監視が可能です。また、高倍率ながら最大口径比 F1.6 (WIDE 端) と明るいレンズのため、カラーモード時 0.7 lx (AGC High, 50 %) の高感度を実現しています。

## ■ 高精度の高速回転台を装備

ダイレクトドライブ方式回転台を採用し、水平約 400 %/s、垂直約 400 %/s の高速回転によって、プリセットポジションへすばやく移動が可能です。また減速機構を持たないため、停止精度、耐久性が高く、低速でも滑らかに回転が行えます。

## ■ 昼夜監視可能

赤外線カットフィルター挿抜機構を装備していますので、夜間などの低照度時は赤外線カットフィルターを OFF することで高感度モード (白黒) に切り換えることができます。

## ■ 「ワンタッチロックメカ」採用 (VN-H657)

着脱が容易な独自の「ワンタッチロックメカ」を採用し、簡単設置とイージーメンテナンスを実現しました。

## ■ プライバシーマスク機能の搭載

撮影する場所に、映したくない場所がある場合、その部分を塗りつぶす設定が可能です。

## ■ 動き検出機能搭載

設定したエリア内の映像の動きを検知し、アラーム出力することができます。アラーム入力によってプリポスト記録した JPEG 画像ファイルを FTP サーバーに送信できます。

## ■ マルチキャストに対応

マルチキャスト対応によって、同じ画像データをネットワーク上の複数のパソコンへフレームレートを下げることなく一度に送信することが可能です。

## ■ HTTP による API

HTTP による API を備えています。これを使用してネットワーク経由での設定・制御が可能です。

## ■ 統合ビューワースフト内蔵

カメラ画像 (JPEG または H.264) をパソコンでモニタリングするための統合ビューワを内蔵しています。カメラの設定、制御も可能です。使いやすさを追求した GUI を採用しています。

## ■ 防水性・耐候型筐体の採用 (VN-H657WP)

防塵・防滴構造で、雨の影響も受けないため、直接屋外に設置することができます。(IP66 仕様)

- ※ VN-H657 は屋内仕様です。屋外や水分のかかる場所での使用はできません。

## この取扱説明書の見かた

- 本書は、本機の設置方法および IP アドレスの設定について説明しています。
- 付属 CD-ROM 内の取扱説明書には、本書に記載されている本機の説明や設置方法に加えて、Internet Explorer を使った設定および統合ビューワの操作についても説明しています。カメラの設定や統合ビューワの操作につきましては、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」をお読みください。
- 付属 CD-ROM には、「取扱説明書」(pdf)、「API ガイド」(pdf)、「JVC-VN 検索ツール」、「JVC-VN-IP 設定ツール」、「README」(txt)が含まれています。
- 出先などからは、Android 端末または iPhone 端末でモバイルユーザーガイドをご覧になれます。モバイルユーザーガイドは、Android 端末および iPhone 端末に標準搭載のブラウザで閲覧することができます。詳しくは、下記 URL にアクセスしてください。  
<http://manual3.jvckenwood.com/pro/mobile/jp/>

## 本文中の記号の見かた

- ご注意 : 操作上の注意が書かれています。
- メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
- 🔍 : 参考ページや参照項目を示しています。

## 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Windows、Internet Explorer、ActiveX は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- iPhone は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc.の商標です。
- Android は、Google Inc.の商標および登録商標です。
- QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。
- 機種固有の機能や設定値などについては、機種名およびシリーズ名を記載しています。

# 正しくお使いいただくため のご注意

## 最新情報について

- 最新のファームウェアについては、弊社の Web サイトでご確認ください。  
(最新のファームウェアはダウンロードページに記載されています。)  
[http://www3.jvckenwood.com/pro/pro\\_download.html](http://www3.jvckenwood.com/pro/pro_download.html)
- ファームウェアのアップデートについては、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で[メンテナンス]ページのファームウェアの項目をご覧ください。

## 保管および使用場所

- VN-H657 は、屋内用カメラです。屋外での使用はできません。
- VN-H657 は、吊り下げ専用です。必ずカメラが水平になるように設置してください。据え置きや傾けて使用すると正しく動作しません。
- VN-H657WP は、壁付け専用です。必ずカメラ部が水平になるように設置してください。据え置きや傾けて使用すると正しく動作しません。
- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ(例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く)で使用された場合、映像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。
- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。本機は本体表面から放熱を行なっています。
- エアコンの吹き出し口近くなど直接冷気の当たる所、あるいは温度の高い所に設置しないでください。ドームカバー内部が結露することがあります。
- 次のような場所に置かないでください。  
誤動作や故障の原因となります。
  - 許容動作湿度(20 %RH~90 %RH)範囲外の湿度の多いところ(結露なきこと)
  - 変圧器やモーターなど強い磁器を発生するところ
  - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
  - ほこりや砂の多いところ
  - 車両や船舶などの振動するところ
  - 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
  - 厨房など蒸気や油分の多いところ
  - 可燃性雰囲気などの特殊環境
  - 放射線や X 線、および塩害や腐食性ガスの発生するところ
  - プールなど、薬剤を使用するところ

- ・許容動作温度範囲外の暑いところや寒いところ

許容動作温度 (VN-H657)

-10 °C ~ 50 °C

許容動作温度 (VN-H657WP)

AC24 V 電源使用時 : -40 °C ~ 55 °C

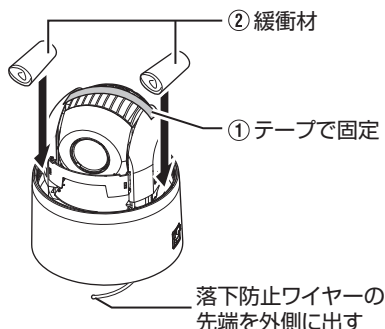
PoE Plus 電源使用時 : -10 °C ~ 55 °C

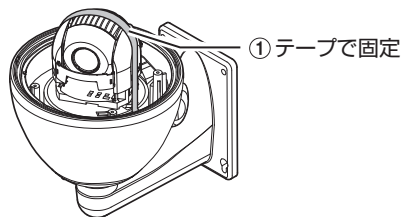
- ※ VN-H657WP は、PoE Plus 電源使用時はヒーターが動作しません。-10 °C 以下の環境下で使用する場合は、AC24 V 電源で使用してください。
- VN-H657WP を低温(-40 °C ~ -20 °C)の環境下で電源を入れた場合、内蔵のヒーターによって内部が温まるまでのあいだ(最長 2 時間)は、カメラにアクセスできません。低温環境下では常時、通電して使用することを推奨いたします。
- VN-H657WP は IP66 準拠ですが、どのような環境下でも浸水しないことを保証しているものではありません。

## 輸送について

- 本機の入っていた箱は捨てずに取っておき、輸送する場合は、この箱を使用してください。
  - カメラ部が非常に回転し易い構造のため、輸送時はドームカバー内部のカメラ部が回転しないように固定してから輸送してください。カメラ動作に不具合が発生する場合があります。
- ① レンズを水平に向け、レンズ部をテープで固定する。
  - ② エアキャップなど(約 50 mm × 約 200 mm)を巻いた緩衝材をカメラの対面 2 か所に入れる。
- 輸送時、カメラ本体に天井取付部を取り付ける場合、落下防止ワイヤーを挟み込まないように落下防止ワイヤーの先端を外側に出してください。落下防止ワイヤーが挟み込まれると、カメラ本体と天井取付部がはずれなくなるおそれがあります。(VN-H657)

### VN-H657 の場合





## 移動について

- 移動するときは接続ケーブル類をはずしてください。
- 移動するときは、システム電源を切ってください。
- 衝撃を与えないように緩衝材などで包んで移動させてください。
- 本機に振動や衝撃を与えないようにいねいに取り扱ってください。

## 著作権保護に関して

- お客様ご自身が、素材画像・音声の著作権者であるか、または素材画像・音声の著作権者から複製などについて許諾を受けている場合を除き、他人の著作物を素材画像、音声として、複製、改変、送信などするには原則として著作権者の許諾が必要です。許諾を得ないで他人の著作物を複製、改変、送信などした場合には、著作権法違反とされ損害賠償などの責任を負うことがありますので、他人の著作物を素材画像・音声として使用する場合、その著作物の使用許諾条件などについては、お客様ご自身で十分ご確認ください。また、被写体の権利(者)が存在する場合は、撮影の許諾、使用(加工)の許諾を受ける必要がありますので、お客様ご自身でそれに係わる許諾条件を十分ご確認ください。

## 著作権について

- 本機で撮影したものを営業目的、または公衆に視聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので注意してください。
- 撮影したものは、一部の例外を除き著作権上、権利者に無断で使用できません。

## お手入れについて

- お手入れは、電源を切ってから行なってください。
- 本機は柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり曇ったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。
- 長期間同じポジションを監視する場合、水平回転部の接点抵抗の増加によって映像にノイズが発生したり、パソコンからの操作が不安定になることが考えられます。そのため 1 週間に 1 回クリーニングを行うオートクリーニング機能を備えています。

## 免責について

- 動き検出機能および妨害検出機能は、盗難、火災などを防止する機能ではありません。万一発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。
- 本機のカメラ映像によってプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した損害に対する責任は一切負いません。

## 省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、システムの電源を切ってください。

## オートフォーカスについて

- 本機は PTZ (パン/チルト/ズーム) 動作の停止後にオートフォーカス動作を行うことができます。詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で [PTZ 制御] ページの「イージー AF」をご覧ください。
- 本機のオートフォーカス機能は、カメラの設定、被写体や光源の状態によっては、フォーカスが合わせられない場合があります。この場合は、手動でフォーカスを合わせてください。
- オートフォーカスが合わせにくい被写体
  - ・ 画面の輝度が極端に高い(明るい)とき
  - ・ 画面の輝度が極端に低い(暗い)とき
  - ・ 画面の輝度が常に変化しているとき(点滅中のライトなど)
  - ・ コントラスト(明暗差)がほとんどないとき
  - ・ 画面上に繰り返しの縦縞パターンがあるとき
- オートフォーカスが動作困難な設定
  - ・ AGC で感度アップし画面がザラついているとき
  - ・ 電子感度アップで画面の動きが少ないとき
  - ・ 電子ズーム中で十分な輪郭成分がないとき



## ズーム動作について

- 以下の現象は内蔵レンズの性能によるもので故障ではありません。
  - マニュアル操作あるいはプリセット選択によって **TELE** 端付近でズーム動作が止まったあとに、フォーカスががくかく動く。
  - マニュアルでズーム操作中動きがなめらかでない。
  - プリセット選択をしたとき、ズーム動作中、瞬間的にフォーカスがずれる。

## その他

- 本機は電源投入後、パン/チルト/ズーム/フォーカスの初期動作を行います。初期動作が開始されるまでに 90 秒程度かかりますが、故障ではありません。
- レンズを太陽などの強い光源に向けないでください。故障の原因となります。
- 本機は **AGC** 回路内蔵のため、暗い場所では自動的に感度が上がり、画面にノイズが目立つ場合がありますが、これは故障ではありません。
- AGC** が動作中、トランシーバーなど強い磁気を発生する機器を本機の近くで使用すると、映像にビートなど発生することがあります。トランシーバーなどを使用する場合は、本機から 3 m 以上はなれて使用してください。
- 本機をホワイトバランス“**ATW-Narrow**”、“**ATW-Wide**”、“**ATW-Full**”(自動調整)で使ったとき、自動色温度追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なる場合がありますが、故障ではありません。
- 高輝度の被写体(ランプなど)を撮影したとき、画面上で高輝度の被写体の上下方向に白い尾引き現象が現われます。これは固体撮像素子特有の現象(スミア現象)で故障ではありません。
- ドームカバーは、直接手で触れないでください。カバーが汚れると画質劣下の原因となります。
- 高湿時、急激な温度変化によってドームカバーが曇ることがあります。
- 外来の雑音などによって、アラーム信号ケーブルの長さが 50 m 以下でもアラームが誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行ってください。
- 水平/垂直回転台の回転速度や、停止位置によって、回転台モーターの動作音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- マルチキャストを使用する場合は、**IGMPv2** に準拠したネットワークスイッチを使用してください。
- インテリジェント機能搭載のスイッチングハブの一部機種においては、ブロードキャストまたはマルチキャストの抑制機能が付いています。その機能が有効な場合、本機のマルチキャスト画像が正常に閲覧できない場合があります。

- 本機は電子シャッターを出荷時“1/30”に設定しています。商用電源周波数 50 Hz の地域で蛍光灯下(インバーター照明器はのぞく)では、ちらつき(フリッカー)を防ぐため“フリッカレス”に切り換えて使用してください。
- 画面上の暗い領域は、ざらついたり、白点が増えることがあります。また、カラー画像と白黒画像の切り換わり時に、画面の明るい部分が強調され見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。
- 落雷やエアコンの電源投入などによって電源電圧が瞬間的に断たれる、または低下した場合、映像が乱れたりノイズが混入することがあります。
- ドームカバーは、半球形をしているため半球の端では像のゆがみが発生します。本機では半球の端をマスクしており、チルト方向で水平を映すと半球の端が画角に入るため、画面の上端が黒くなったり、ピントが甘くなる場合があります。その場合は、チルトリミットの設定によって、上記エリアを映さないようにすることができます。詳しくは、付属 **CD-ROM** 内の「取扱説明書」で [PTZ] ページのチルトリミットをご覧ください。
- 光源(照明など)の付近や輝度差のある被写体を撮影すると、画面上にゴーストが発生することがありますが、これはドームカバーと内蔵レンズの特性によるもので、故障ではありません。
- 特に **TELE** 端(望遠側)付近において、マニュアル操作、オートパン動作をすると、画面が振動して見える(回転動作が滑らかでない)ことがあります。これらの現象はモーターの性能によるもので故障ではありません。
- 本機は高倍率レンズを使用しているため、温度変化によってフォーカスが甘くなる場合がありますが故障ではありません。
- フォーカスをプリセットする場合は、実際に使用する環境の温度に近い状態で、プリセットを行ってください。また、温度変化が大きくフォーカスが甘くなった場合は、再度プリセットし直してから使用してください。
- 使用中の温度変化によってフォーカスが甘く感じたときは、オートフォーカス機能を使用するか、マニュアルでフォーカスを取り直して使用してください。
- 電源を切った状態や停電が長時間続いた場合は、本機内部の時計が大きくずれることがあります。そのような場合には、時刻を設定しなおしてください。詳しくは、付属 **CD-ROM** 内の「取扱説明書」で [時刻] ページをご覧ください。



- 本機内部のファンは消耗部品です。ファンは5年で交換してください。なお、ファンが何らかの原因で停止したときに、アラームトリガーの設定でファン停止をメールやTCP通知などで知らせることができます。

詳しくは、付属CD-ROM内の「取扱説明書」で「アラーム」ページをご覧ください。

- ファンが停止した場合は、本機の電源を切り、最寄りのご相談窓口へお問い合わせください。

- 大切な撮影の場合は、必ず事前に動作確認をしてください。
- ビデオカメラ、VTR、ハードディスクレコーダーまたは、ビデオテーブなどの使用中、万一これらの不都合によって録画されなかった場合、録画内容の補償や機会の損失についてはご容赦ください
- 動き検出機能および妨害検出機能は、簡易的な機能であり、警報機の代用として使用することはできません。これらの機能で検出できなかった場合、または誤検出したことによる一切の不便や損害については補償できません。またアラーム入出力に対して動作不具合の場合に発生した不便や損害は補償できません。

この装置は、クラスA情報技術装置です。  
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

## 添付物・付属品

本機を取り付ける前に、以下の添付物・付属品が揃っていることをご確認ください。

### VN-H657

- 取扱説明書(設置/IP設定編):1
- 安全上のご注意:1
- 保証書:1
- ご相談窓口案内:1
- テンプレート:1
- CD-ROM:1
- ワイヤークランプ:1

### VN-H657WP

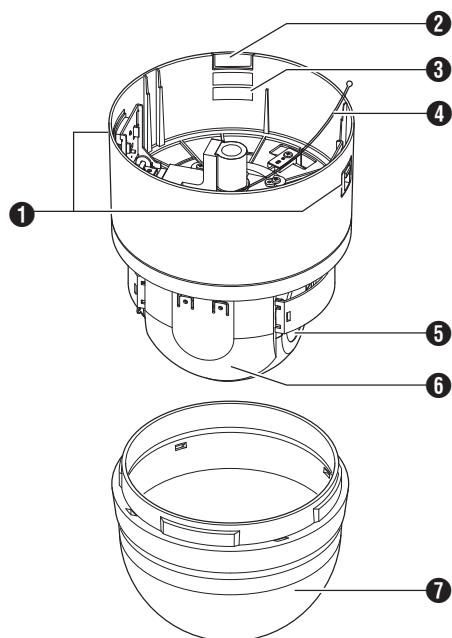
- 取扱説明書(設置/IP設定編):1
- 安全上のご注意:1
- 保証書:1
- ご相談窓口案内:1
- CD-ROM:1
- RJ-45変換コネクタ:1
- シリカゲル:3

# 各部の名称

■ VN-H657

カメラ本体

はじめに



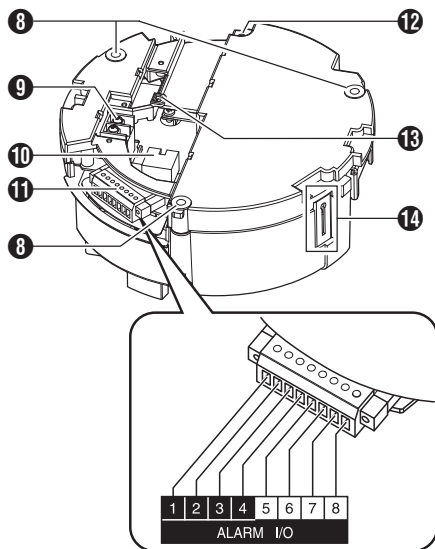
- ❶ カメラ本体固定ロックノブ(2か所)  
カメラを天井に取り付け、落ちないように固定します。
- ❷ ケーブルカバー  
ケーブル類を横出ししてカメラを取り付ける場合、カバーをはずします。  
(※ P20 [ケーブルを横出しする場合])
- ❸ [MAC address]MAC アドレス表示部  
MAC アドレスは、製品固有の物理アドレスです。変更はできません。
- ❹ 落下防止ワイヤー  
天井取付部の「落下防止ワイヤー固定金具 ❶❹」にかけます。
- ❺ レンズ部(カメラモジュール)  
レンズだけを交換することはできません。
- ❻ カメラ部
- ❼ ドームカバー  
ドームカバーは傷が付きやすいので、取り扱いには注意してください。

ご注意：

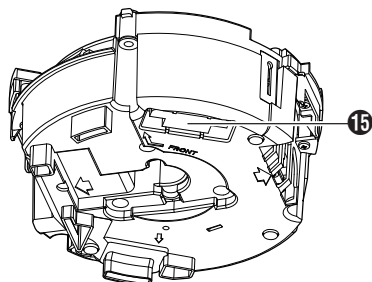
- 出荷時にはある保護シートは、ドームカバーを本体に取り付けるまではがさないでください。

## 天井取付部

### 端子側



### 裏側



- ⑧ 固定用穴(3か所)  
天井あるいは、天井埋込ブラケット(WB-S685別売)などに取り付けるための穴です。
- ⑨ [AC24V $\vee$ INPUT] AC24 V 入力端子  
AC24 V 電源と接続します。  
( $\Rightarrow$  P19 [電源ケーブルを接続する])
- ⑩ [10BASE-T/100BASE-TX] LAN ケーブル接続端子  
ネットワークと接続します。  
PoE Plus (IEEE802.3at Type2)に対応しており、電源配線なしで本機を使用できます。  
( $\Rightarrow$  P19 [LAN ケーブルを接続する])
- ⑪ アラーム信号端子(8ピン)  
アラーム信号ケーブルを接続します。  
( $\Rightarrow$  P13 [アラーム入出力信号について])  
( $\Rightarrow$  P20 [アラーム信号端子にアラーム信号ケーブルを接続する])

### アラーム信号端子の信号一覧

ピン番号	信号名
1	INPUT1
2	INPUT1 COM
3	INPUT2
4	INPUT2 COM
5	OUTPUT1
6	OUTPUT1 COM
7	OUTPUT2
8	OUTPUT2 COM

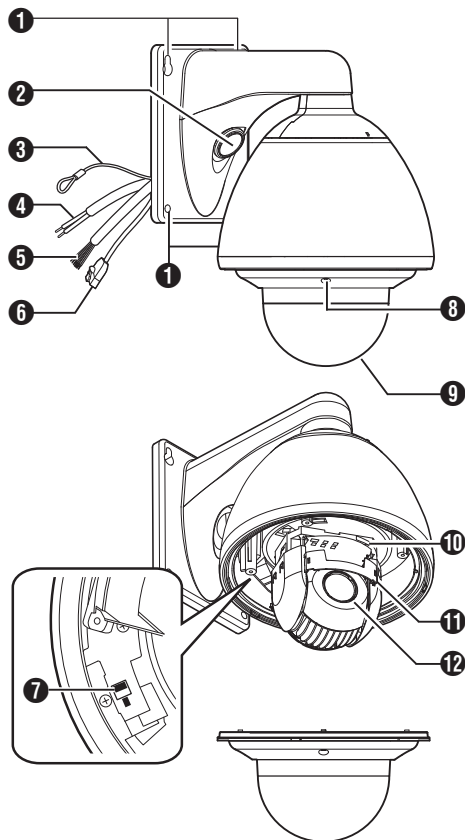
- ⑫ 落下防止ワイヤー(天井用)取付穴  
万一のカメラ落下に備え、この穴に天井スラブまたはチャンネルからの落下防止ワイヤー(天井用)を取り付けます。

### メモ:

- 落下防止ワイヤー(天井用)は付属されておりません。

- ⑬ ワイヤークランプ固定穴  
ワイヤー類を束ねるときに使用します。
- ⑭ 落下防止ワイヤー固定金具  
カメラ本体の「落下防止ワイヤー ④」をひっかけます。
- ⑮ カメラ接続端子(メス)  
カメラ本体の接続端子(オス)と接続します。

## VN-H657WP



- ① カメラ本体固定用穴(4 か所)  
カメラ本体を壁に取り付けるための穴です。
- ② ケーブル接続用穴、キャップ  
キャップをはずしてケーブル類をこの穴から出し、ケーブル類の接続を行います。  
(☞ P24 [ケーブル接続用のキャップをはずす])
- ③ 落下防止ワイヤー  
カメラ本体と壁をつなぎます。壁に立てた落下防止ワイヤー取付用のアンカーボルトにしっかり固定してください。  
(☞ P25 [落下防止ワイヤーを取り付ける])
- ④ AC24 V 電源ケーブル  
AC24 V 電源と接続します。  
(☞ P25 [電源ケーブルを接続する])

- ⑤ アラーム信号ケーブル(8 本)  
アラーム入力、アラーム出力ケーブルです。  
(☞ P26 [アラーム信号ケーブルを接続する])

## アラーム信号ケーブルの信号一覧

ケーブルの色	信号名
茶	入力 1
赤	入力 1(COM)
オレンジ	入力 2
黄	入力 2(COM)
緑	出力 1
青	出力 1(COM)
紫	出力 2
灰	出力 2(COM)

- ⑥ LAN ケーブル  
ネットワークと接続します。  
PoE Plus (IEEE802.3at Type2)に対応しており、電源配線なしで本機を使用できます。  
(☞ P26 [LAN ケーブルを接続する])
- ⑦ ヒーター ON/OFF スイッチ  
内蔵ヒーターの ON/OFF スイッチです。  
ドームカバーへの雪や霜の付着や、曇り防止のため、ヒーターが内蔵されています。ヒーターが不要な場所に設置する場合は、ヒーターのスイッチを OFF にしてください。ON にすると内部の温度が適切になるようにヒーターを自動制御します。通常は ON で使用します。  
(☞ P23 [設置・接続の準備(VN-H657WP)])
- ⑧ ドームカバー固定ねじ(4 か所)
- ⑨ ドームカバー  
ドームカバーは傷が付きやすいので、取り扱いには注意してください。

## ご注意:

- 出荷時にはついている保護シートは、設置が完了するまではがさないでください。

- ⑩ [MAC address]MAC アドレス表示部  
MAC アドレスは、製品固有の物理アドレスです。変更はできません。
- ⑪ カメラ部
- ⑫ レンズ部(カメラモジュール)  
レンズだけを交換することはできません。

# アラーム入出力信号について

## アラーム入力信号

赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーと接続します。

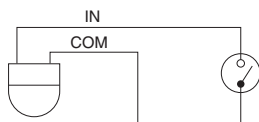
- アラーム入力信号は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。

メモ：\_\_\_\_\_

- 〔詳細設定〕ページの〔アラーム〕ページで接点がショート(メイク)時にアラームとするか、接点がオープン(ブレイク)時にアラームとするか設定可能です。  
詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「〔アラーム〕ページ」をご覧ください。
- アラーム信号は 500 ms 以上続けて加えるようにしてください。それより短い場合、アラーム信号として認識されないことがあります。

ご注意：\_\_\_\_\_

- 電圧を供給しないでください。



定格

ローレベル端子電流：1 mA 以下

ハイレベル端子電圧：3.3 V

## アラーム出力信号

報知器、表示器、ライト、ブザーなどの報知装置と接続します。

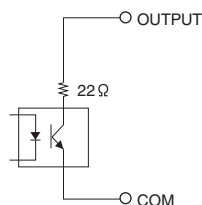
- アラーム出力信号はフォトカプラーで絶縁されたオープンコレクター出力となっています。

メモ：\_\_\_\_\_

- 〔詳細設定〕ページの〔アラーム〕ページでアラーム時の接点をショート(メイク)とするかオープン(ブレイク)とするかを設定可能です。  
詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「〔アラーム〕ページ」をご覧ください。

ご注意：\_\_\_\_\_

- この端子は、極性がありますので必ず COM 側出力より OUTPUT 側出力の電圧が高くなるよう接続してください。
- 逆電圧を加えると破損します。



定格

最大印加電圧：DC 20 V

最大駆動電流：25 mA

# 動作環境

# ネットワークについて

## 推奨するパソコンの仕様

OS	: Windows 7 Professional (SP1)、 Windows XP Professional また は Home Edition (SP3)
CPU	: Intel Core i5 3 GHz 以上
メモリー容量	: 2 GB 以上
ハードディスク	: 512 MB 以上の空き容量
空容量	
ディスプレイ	お: 1920×1080 ピクセル以上、True Color (24 ビットまたは 32 ビット)、VRAM 1 GB 以上を推奨
Web ブラウザ	: Internet Explorer Version 8.0, Version 9.0

### ご注意:

- 推奨するパソコンの仕様欄に記載したバージョンの Internet Explorer 以外の Web ブラウザは、動作を保証するものではありません。
- 統合ビューワーは ActiveX というソフトウェアコンポーネントで構成されています。はじめて統合ビューワーを使ったときに ActiveX がインストールされますが、アンチウィルスソフトの設定によっては ActiveX のインストールを拒否する場合があります。そのような場合にはアンチウィルスソフトの設定を変更してください。
- CPU やメモリーの負荷変動、ネットワークのジッターなどの要因によって、カメラからの映像がなめらかに見えない場合がありますが、これは故障ではありません。  
カメラの設定によって、この症状を改善できることがあります。  
詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[エンコード] ページ」をご覧ください。

## LAN 環境

- IEEE802.3 準拠のスイッチングハブなどで相互に接続された 10BASE-T/100BASE-TX ネットワーク
- PoE plus を使用する場合は、IEEE802.3at 準拠のスイッチングハブなど
- マルチキャストを使用する場合は、IGMPv2 準拠のネットワーク

- カメラが送信するデータ量に対して十分なネットワーク帯域を確保してください。また、帯域を越えるマルチキャストストリームを流さないでください。マルチキャストストリームによって帯域が専有されると、ネットワーク経由でカメラを制御できなくなる場合があります。
- カメラが送信するデータ量は設定や配信数によって異なります。
- 送信できるビットレートの上限は約 40 Mbps です。
- 最大 20 クライアントまで同時サポート可能です。

## フレームレートとフレームサイズ

本機は最大 3 チャンネルの同時エンコードが可能ですが、設定可能なフレームサイズとフレームレートの組み合わせに制約があります。組み合わせの制約について詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「付録 (マルチエンコード時の制約)」をご覧ください。

## JPEG ストリームのビットレート

1 枚あたりの JPEG ファイルのサイズは、エンコードの設定やカメラ映像によって異なります。“AFS”を選択した場合は、複数の JPEG の平均サイズが目標ファイルサイズになるようにエンコードされます。“VFS”を選択した場合は、JPEG エンコード時の量子化テーブルは一定に保たれ、ファイルサイズはカメラ映像に応じて増減します。

1 枚あたりの JPEG ファイルサイズが 120 KB であれば、総ビットレートは次のようになります。

$120 \text{ KB} \times 15 \text{ fps} = 1800 \text{ KB/s} \approx 14.4 \text{ Mbps}$

“マルチエンコード”を選択している場合には、チャンネルごとに JPEG のファイルサイズが異なる設定も可能です。

例えば、ファイルサイズが 30 KB である JPEG を 2 fps、ファイルサイズが 10 KB である JPEG を 3 fps 送信している場合、総ビットレートは次のようになります。

$30 \text{ KB} \times 2 \text{ fps} + 10 \text{ KB} \times 3 \text{ fps} = 90 \text{ KB/s} \approx 0.72 \text{ Mbps}$



## H.264 ストリームのビットレート

H.264 ストリームのビットレート方式は、VBR(可変ビットレート) または CBR(固定ビットレート) のいずれかの方式を選択できます。

VBR 方式はカメラ映像の状況に応じてビットレートが変化します。VBR 方式の場合、画質は安定しますが、ビットレートの予測が困難です。CBR 方式はカメラ映像の状況に関係なく、一定のビットレートでエンコードします。CBR 方式の場合、画質が変化しますがビットレートの予測が容易です。VBR、CBR とともに、目安としてのビットレートを設定できます。(64 kbps ～ 8192 kbps)

なお、H.264 Baseline は同時に複数のエンコーダに設定することができません。フレームサイズが 1280×720 以下でビットレート 1.5 Mbps 以下を 1 チャンネルだけ設定できます。

## ネットワーク帯域が不足した場合

帯域が不足するとクライアントで取得できる JPEG の枚数(フレームレート) が少なくなります。また、画像配信が遅延します。H.264 の場合、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

## ネットワークの遅延

クライアントが JPEG を TCP で取得する場合には、クライアントからの ACK を確認しつつカメラは送信します。遅延が大きいネットワークでは ACK を受信するまで送信できないため、フレームレートが低下します。H.264 の場合、ノイズが入り再生できなくなることがあります。マルチキャストで受信すれば、ネットワークの遅延によるフレームレート低下はなくなります。

## ネットワークのジッター

ネットワークのジッターが大きいと、遅延時間の増大、画像のフレームレートの低下が起こります。H.264 の場合は、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

## パケットロス

カメラから TCP で画像を取得する場合は、パケットロスが TCP の再送によってリカバリーされます。ただし再送による遅延が大きい場合には、データが欠落し、画像のフレームレート低下が起こります。H.264 の場合は、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

カメラからのマルチキャスト送信でパケットロスが起こった場合は、画像のフレームレート低下が起こります。H.264 の場合は、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

## 使用するプロトコル、ポート番号一覧

カメラでは下記のプロトコル、ポート番号を使用します。ファイアウォールを設置する場合にはこれらのポートを通過させてください。

プロトコル/ポート番号	用途
送信元	
TCP/80	JPEG/H.264 取得、Web 設定ページ、API
TCP/554	RTSP
TCP/32040	アラーム配信
宛先	
TCP/ユーザー設定番号	アラーム送信
UDP/ユーザー設定番号	
TCP/20, 21	FTP
TCP/25	メール送信
TCP/110	POP(メール送信)
UDP/123	SNTP
UDP/161	SNMP

## 運用プロトコルについて

### ONVIF について

本機は、ONVIF (Open Network Video Interface Forum) に対応しています。

ONVIF は、監視機器のネットワークプロトコルを標準化している団体です。

ONVIF では、監視機器を発見するプロトコル、監視機器の設定を取得・変更するプロトコル、映像音声データを送受信するプロトコルなどが標準化されています。

ユーザー名、パスワードの初期値は次のとおりです。

ユーザー名 : admin

パスワード : jvc

また、本機は ONVIF Profile S を満たしています。

## 映像について

### H.264 のプロファイルについて

本機は H.264 Baseline Profile と H.264 High Profile に対応しています。

High Profile は少ないビットレートで高画質を維持できますが、デコーダ側が High Profile に対応している必要があり、デコーダ側の処理負荷も大きくなります。

Baseline Profile は High Profile に比べ圧縮性能が劣りますが、デコーダ側の処理負荷は High Profile よりも軽減されます。

デコーダが十分な処理能力を持っている場合は High Profile の選択をお勧めします。

## 設定ページについて

### 設定ページの言語選択について

設定ページ右上には言語を選択するラジオボタンがありますが、言語については使用しているパソコンの OS 環境に合わせて自動的に設定されます。もし英語 OS を使用中に“Japanese”を選択した場合、日本語環境がないために正しく表示されないことがあります。必ず使用しているパソコンの OS の言語環境に合わせて設定ページを使用してください。

- 設定ページについて詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「設定ページの開きかた」をご覧ください。



メモ: \_\_\_\_\_

- 言語を設定すると、次回から設定した言語で表示されます。

# 各ユーザーが使用できるページについて

## ユーザー名とパスワードの入力

カメラにアクセスすると、ユーザー名とパスワードの入力を要求されます。

カメラにはアクセス権限のレベルが3つあり、工場出荷時には次のように設定されています。

- **admin**  
すべての操作および設定変更が可能です。  
(工場出荷時のパスワード: "jvc")
- **operator**  
[基本設定 1]、[ネットワーク]、[プロトコル]、[時刻]、[パスワード]および[メンテナンス]は操作・設定変更できません。  
(工場出荷時のパスワード: "jvc")
- **user**  
画像の閲覧および一部の操作が可能です。  
(工場出荷時のパスワード: "jvc")

メモ: \_\_\_\_\_

- Internet Explorer からカメラにアクセスする方法については、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「設定ページの開きかた」をご覧ください。

## 各ユーザーがアクセスできるページ

各ユーザーがアクセスできるページは限定されています。また、設定ページ上のリンクの表示もユーザーのアクセス権限に合わせてアクセスできるページへのリンクのみ表示されます。

メモ: \_\_\_\_\_

- ページの一覧および詳細については、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「統合ビューワメニュー一覧」をご覧ください。

### admin

トップメニュー	サブメニュー
[基本設定 1]	[ネットワーク]
	[時刻]
[基本設定 2]	[カメラ]
	[エンコード]
[詳細設定]	[カメラ]
	[エンコード]
	[アラーム]
	[アラーム環境]
	[FTP 記録]

トップメニュー	サブメニュー
[詳細設定]	[PTZ]
	[オートパトロール 0~2]
	[プライバシーマスク]
	[動き検出]
	[妨害検出]
	[ネットワーク]
	[プロトコル]
	[マルチキャスト]
	[時刻]
	[パスワード]
	[メンテナンス]
	[その他]
	[動作状況]
	[機器情報]
	[ポジションリスト]
	[パトロール情報 0~2]

### operator

トップメニュー	サブメニュー
[基本設定 2]	[カメラ]
	[エンコード]
[詳細設定]	[カメラ]
	[エンコード]
	[アラーム]
	[アラーム環境]
	[FTP 記録]
	[PTZ]
	[オートパトロール 0~2]
	[プライバシーマスク]
	[動き検出]
	[妨害検出]
	[マルチキャスト]
	[その他]
	[動作状況]
	[機器情報]
	[ポジションリスト]
	[パトロール情報 0~2]

### user

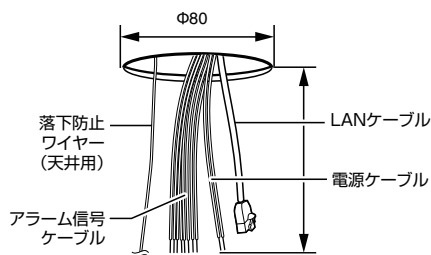
トップメニュー	サブメニュー
[詳細設定]	[その他]

# 設置・接続の準備(VN-H657)

- カメラの取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行なってください。
- 落下防止ワイヤー(天井用)は付属されておりません。事前に、落下防止ワイヤーを別途用意してください。

## 1 天井に穴をあけ(添付のテンプレート使用)、ケーブル類を穴から出す

- 付属のテンプレートを使用し、接続ケーブルを天井裏に通す穴(Φ80 mm)をあけてください。
- 必要に応じて、天井取付部を天井に取り付けるためのねじ穴もあけてください。その場合、カメラを正面に向けた方向にテンプレートの“↑FRONT マーク”を合わせてねじ穴をあけてください。
- あらかじめ天井スラブなどに取り付けた落下防止ワイヤー(天井用)、電源ケーブル、LAN ケーブル、アラーム信号ケーブルなどを天井から出してください。

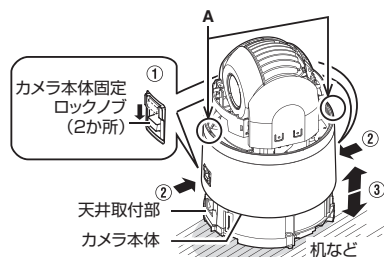


ご注意：

- 落下防止ワイヤー(天井用)は十分な強度を持った場所に取り付けてください。

## 2 カメラ本体から天井取付部をはずす

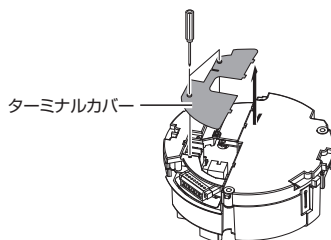
- 梱包時はカメラ本体に天井取付部が取り付けられています。設置の前にカメラ本体から天井取付部をはずしてください。



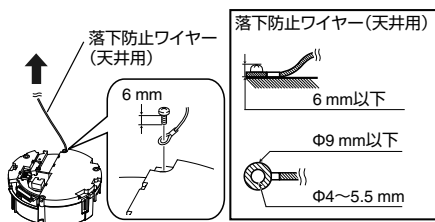
- 矢印の方向にスライドさせて、ロックを解除してください。
- 矢印の方向に左右から押し込んでください。(カメラ本体固定ロックノブが押し込みにくい場合、カメラ本体の縁(図の A)を作業している机などに押し付けながらロックノブを押し込んでください。)
- カメラ本体を上部に持ち上げはしないでください。

## 3 ターミナルカバーをはずす

- 天井取付部のねじ2か所をゆるめて、ターミナルカバーをはずしてください。



## 4 落下防止ワイヤー(天井用)を取り付ける(天井と天井取付部をつなぐ)



ご注意：

- 使用する落下防止ワイヤー(天井用)は、長さ・強度・引き回し・材質(絶縁性)などにも十分注意し、ワイヤー強度 20 kg 以上のものを使用してください。
- ワイヤーは、カメラ本体に取りつける輪の部分の内径が Φ4 mm 以上 Φ5.5 mm 以下、外径が Φ9 mm 以下のものを使用してください。
- ワイヤーは、ねじ頭とワイヤーの厚み(ワッシャー含む)が、合わせて 6 mm 以下になるよう取り付けください。6 mm 以上になるとねじが天井にぶつかりカメラ本体が水平に設置できません。
- 固定ねじは M 4 を使用してください。

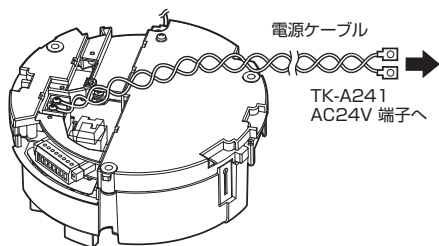
メモ：

- ワイヤーは天井構造物と絶縁できるように接続してください。天井構造物が金属の場合、カメラとの絶縁をとらないと映像にノイズが入ることがあります。

## 5 電源ケーブルを接続する

- AC24 V 電源で電源供給する場合は、電源ケーブルを接続してください。
- PoE plus で電源供給する場合は、電源ケーブルの接続は不要です。次の手順へお進みください。

(P19 [LAN ケーブルを接続する])



AC24V と接続する場合の電源ケーブルについて(参考値)

導体直径(mm)	最大接続距離(m)
Φ1.0 以上	40
Φ1.6 以上	130
Φ2.0 以上	200
Φ2.6 以上	350

メモ:

- 工場出荷時は IP アドレスが 192.168.0.2 に設定されています。

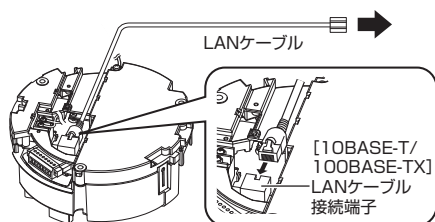
ご注意:

- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。
- 電源ケーブルと LAN ケーブルの両方から電源が供給された場合、電源ケーブルからの電源が優先されます。
- 同一 LAN 環境下で、工場出荷時のカメラを複数台同時に電源投入すると、IP アドレスの重複がおり、正しくアクセスできなくなります。JVC-VN-IP 設定ツール(付属の CD-ROM 内)を使用して設定するか、あるいは 1 台ずつ電源を投入し、重複しない IP アドレスを設定してください。
- 電源ユニットに TK-A241 を使用する場合は、“OUTPUT1(MAX 3.2 A)”に接続してください。“OUTPUT2(MAX 1 A)”または“OUTPUT3(MAX 1 A)”に接続すると電流量が不足することがあります。TK-A241 の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 電源ユニットに TK-A241 を使用する場合は、ユニット 1 台につき本機 1 台のみ使用可能です。

## 注意

本機に電源を供給するには、AC24 V 50 Hz/60 Hz、または、PoE Plus (IEEE802.3at Type2) を使用します。正しい電圧で使用してください。AC24 V は必ず一次電源から絶縁されたものを使用してください。定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかにご相談窓口へ連絡してください。定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。速やかにご相談窓口へ連絡して点検(有償)を受けてください。

## 6 LAN ケーブルを接続する



- LAN ケーブルでハブまたはパソコンに接続してください。
- ハブに接続する場合: ストレートケーブルを使用してください。
- パソコンに接続する場合: クロスケーブルを使用してください。

## 使用 LAN ケーブル


- STP(シールドケーブル推奨)
- 長さ 100 m 以下
- カテゴリ 5e 以上

ご注意:

- パソコンによってはクロスケーブルを使用できない機種があります。カメラをパソコンに直結する場合には事前にパソコンの LAN 仕様を確認してください。

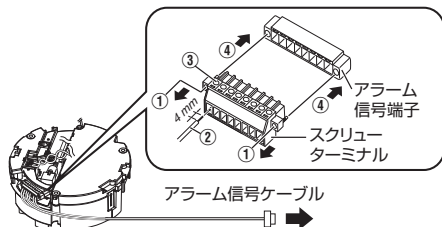
## 7 アラーム信号端子にアラーム信号ケーブルを接続する

- アラーム信号端子と、センサー、ブザーなどの外部機器を接続します。
- アラーム信号端子のピン番号と信号名については、以下をご覧ください。

( P11 [アラーム信号端子の信号一覧])

- アラーム入出力について詳しくは、以下をご覧ください。

( P13 [アラーム入出力信号について])



- ① スクリューターミナルの両端のねじをマイナスドライバーで緩めて、スクリューターミナルをはずしてください。

メモ:

- マイナスドライバーの先端をスクリューターミナルの隙間に入れると、スクリューターミナルがはずしやすくなります。

- ② アラーム信号ケーブルの被ふくを 4 mm ほどむいて、スクリューターミナルに差し込んでください。
- ③ 側面のスクリューを回しアラーム信号ケーブルを固定してください。
- ④ アラーム信号ケーブルを固定したら、① ではなくしたねじを使用して、スクリューターミナルをもとに戻してください。

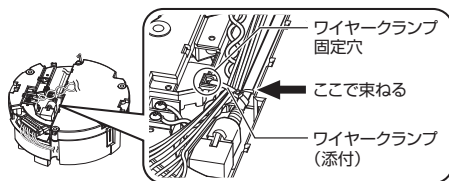
### 使用アラーム信号ケーブル

- 長さ 50 m 以下
- UL1007 または UL1015 相当品
- AWG#22 ~ AWG#18 相当品

ご注意:

- 外来の雑音などによって、長さ 50 m 以下でも誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行ってください。

## 8 ケーブル類の接続が終わったら、ワイヤークランプ(添付)でケーブルを束ねる



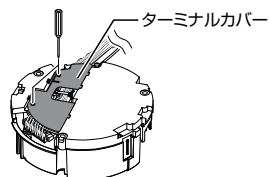
ご注意:

- ケーブルが絡まって断線するのを防ぐため、必ずワイヤークランプ固定穴にワイヤークランプを通してケーブル類を束ねてください。

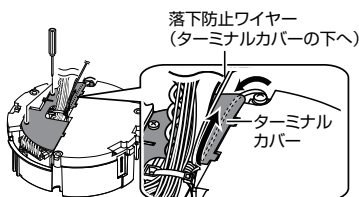
## 9 ターミナルカバーを取り付ける

- 手順 3 でははずしたターミナルカバーを元に戻します。カメラの取り付け方法によってケーブルを出す方向が変わります。

ケーブルを横出しする場合

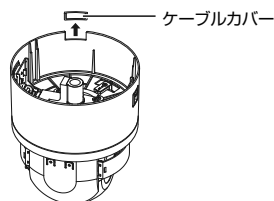


ケーブルを上出しする場合



ご注意:

- 異物やほこりが入らないよう、ターミナルカバーは必ず取り付けてください。
- ケーブルを上出しする場合、落下防止ワイヤーはターミナルカバーの下をくぐらせてケーブル類と合わせて上出ししてください。
- ケーブルを横出しする場合、カメラ本体のケーブルカバーをはずしてください。

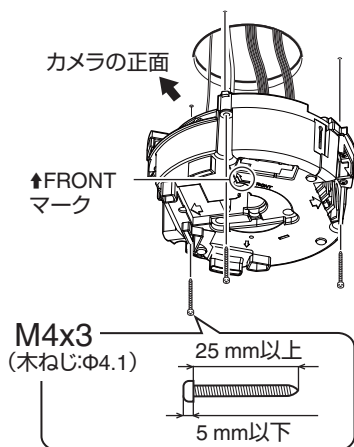




# カメラ本体の取り付け (VN-H657)

## 1 FRONT マーク(↑)を撮影方向に向け、天井取付部を天井に固定する

- 接続ケーブルをはさみ込まないように注意して、天井取付部をねじ 3 本で天井に固定します。



ご注意：

- 固定用ねじ、ボルトは M4 を使用してください。
- 木ねじは  $\phi 4.1$  を使用してください。
- ねじの長さは 25 mm 以上のものを使用してください。
- 本機が水平になるように設置してください。傾けて使用すると正しく動作しません。
- ねじ頭が 5 mm 以下のものを使用してください。天井構造物が金属の場合、映像にノイズが入ることがあります。
- ねじの締め付け時にねじ頭がもぐり込むタイプのねじは使用しないでください。(皿ねじなど) 絶縁用樹脂パーツが破損して絶縁がとれなくなることがあります。

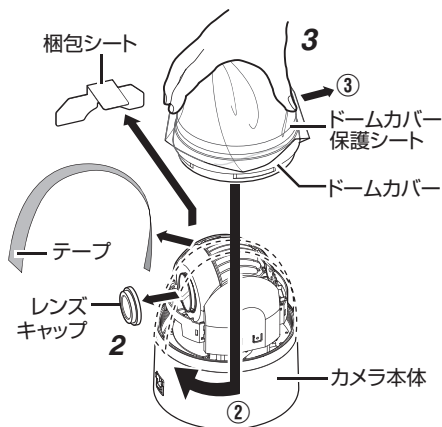
メモ：

- 必ず 3 本のねじを使用して、確実に取り付けてください。
- メンテナンス時は念のため、ねじを増し締めしてください。
- 天井取付部の天井固定用穴についている樹脂パーツは、天井取付部と天井構造物の絶縁目的で使用しています。天井構造物が金属の場合カメラとの絶縁を行わないと、映像にノイズが入ることがあります。必ず絶縁するように設置してください。

## 2 カメラのレンズ部のテープ、レンズキャップおよび梱包シートをはずす

## 3 ドームカバーをカメラ本体に取り付け、保護シートをはがす

- ① ドームカバーやレンズにゴミが付いていないかを確認してください。
- ② ドームカバーを時計方向に回して取り付けてください。
- ③ 保護シートをはがしてください。



ご注意：

- ドームカバーは光学部品のため取り扱いに注意してください。
- ドームカバーを取り付けるときは、中にごみが入らないように注意してください。
- ドームカバーは最後まで締めてください。
- ドームカバーはねじ構造になっているのでカバーが回らなくなるまで確実に締め込んでください。このときドームカバーが斜めに付かないように注意してください。
- ドームカバーは無理に回さないでください。ドームカバーが破損することがあります。

メモ：

- ドームカバーが入りにくい場合、一度反時計方向に「カタッ」と音がするまで回し、再度時計方向に回すとスムーズに入ります。

#### 4 カメラ本体の落下防止ワイヤーを取り付ける(天井取付部とカメラ本体をつなぐ)

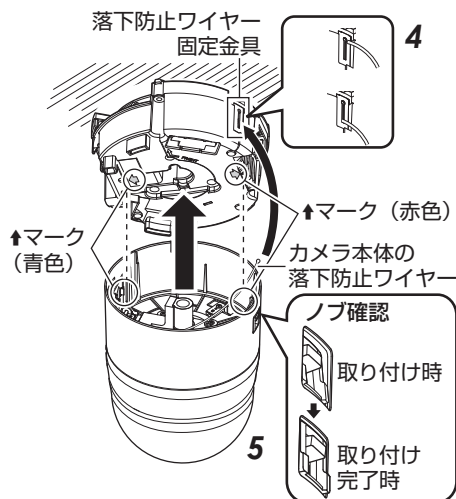
- カメラ本体に付いている落下防止ワイヤーを、天井取付部の落下防止ワイヤー固定金具に取り付けます。

#### 注意

- 落下防止ワイヤーを接続しないとカメラ本体が落下する原因となります。落下防止ワイヤーは必ず接続してください。
- 危険防止のため、落下防止ワイヤーにカメラをぶらさげたまま放置しないでください。

#### 5 カメラ本体を取り付け、カメラ本体ロックノブを確認する

- カメラ本体内側の“↑マーク(青色)/(赤色)”と、天井取付部の“↑マーク(青色)/(赤色)”の位置を合わせます。
- カチッと音がするまで、カメラ本体を天井取付部に挿入し、確実に取り付けます。
- カメラ本体が確実に取り付けくと、カメラ本体固定ロックノブ(2 か所)が少し出っ張ります。

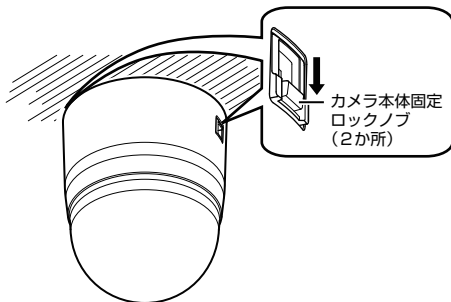


ご注意:

- カメラ本体を取り付ける前に、カメラ本体固定ロックノブがロックされていない(ロックノブが上方にある)ことを確認してください。ロックがされているとカメラが取り付けられません。
- ケーブルを横出する場合、カメラ本体のケーブルカバーをはずしてください。  
(☞ P20 [ケーブルを横出する場合])

#### 6 カメラ本体固定ロックノブ(2 か所)をロックする

- カメラ本体を天井取付部に取り付けたら、カメラ本体固定ロックノブ(2 か所)を矢印の方向に下げて、カメラ本体が落下しないよう固定します。



#### 注意

- カメラ本体固定ロックノブ(2 か所)がロックされていない場合、カメラ本体が落下する原因となります。ロックノブが確実にロックされていることを必ず確認してください。
- 取り付けに不備があるとカメラ本体が落下する原因となります。取り付け完了後、カメラが確実に取り付けられているか確認してください。

以上でカメラの設置は終了です。このあと、カメラの IP アドレスを設定してください。  
(☞ P28 [IP アドレスの設定手順])

#### カメラの取りはずし

- カメラ本体固定ロックノブを天井の方向へスライドさせロックを解除する
- カメラ本体固定ロックノブ(2 か所)を左右から押し込み、カメラ本体をはずす
- 落下防止ワイヤーを取り付けと逆の手順ではずす

# 設置・接続の準備 (VN-H657WP)

カメラの取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行ってください。

## 壁面の準備

### 1 壁に穴をあける

- 接続ケーブルを通す穴(Φ45 mm)をあけます。

ご注意：

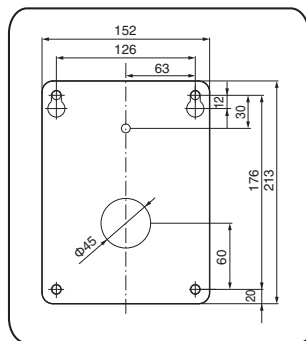
- 壁の強度を確認ください。落下の原因となります。

### 2 カメラ本体取り付け用のアンカーボルトを立てる

- カメラ本体を取り付けるためのアンカーボルト(M8×35 mm 以上)を 4 本立てます。

### 3 落下防止ワイヤー取り付け用のアンカーボルトを立てる

- カメラ本体を取り付けるためのアンカーボルト上部 2 本の中央、30 mm 下の位置に落下防止ワイヤーを取り付けるためのアンカーボルトを立てます。

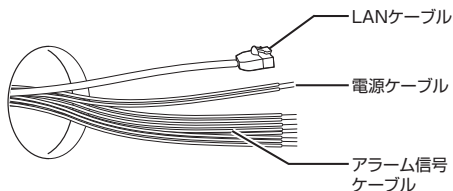


落下防止ワイヤー  
取り付け用  
アンカーボルト

カメラ本体  
取り付け用  
アンカーボルト

## 4 ケーブル類を壁の穴から出す

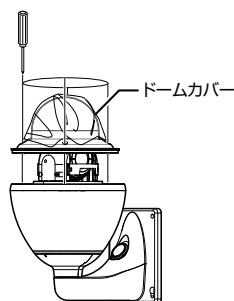
- 電源ケーブル、LAN ケーブル、アラーム信号ケーブルを壁から出します。



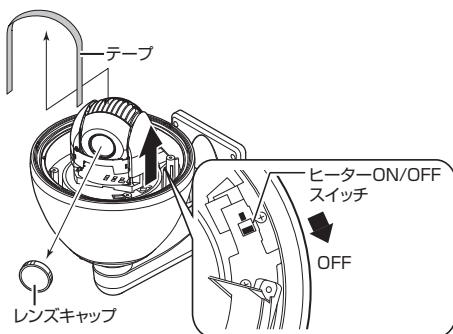
## カメラの準備

### 1 ドームカバーをはずす

- ねじ(4 本)をゆるめ、カメラ本体からドームカバーをはずします。



### 2 レンズキャップをはずし、輸送用のテープをはがす



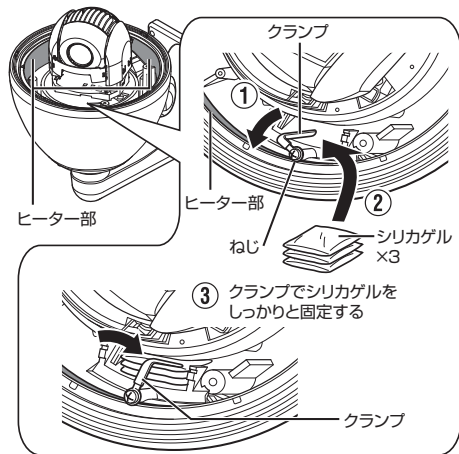
メモ：

- ヒーターが不要な場所に設置する場合は、ヒーター ON/OFF スイッチを切ってください。

### 3 シリカゲルを入れる

- 図の位置に付属のシリカゲルを必ず入れてください。

- ① ねじをゆるめて、クランプをずらす
- ② アルミバックからシリカゲルを3個取り出し、ヒーター部の奥(図の位置)にシリカゲルを入れる
  - シリカゲルを入れたあと、シリカゲルがヒーター部にふれていないことを確認してください。
- ③ クランプでシリカゲルをしっかりと固定し、ねじを締め付ける
  - シリカゲルを確実に押さえるまでクランプを回転させてから、ねじを締め付けてください。



メモ:

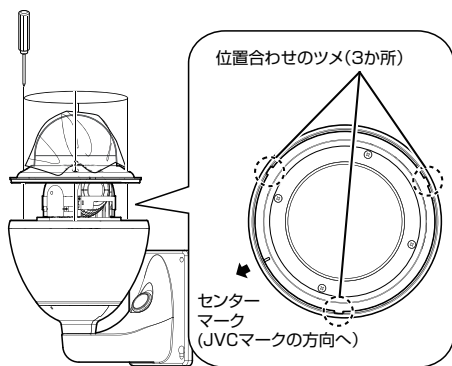
- 修理やメンテナンス時に再接続や再設置する場合は必ずシリカゲルを交換してください。
- 交換する場合はご相談窓口にお問い合わせください。交換する部品は、サービス部品番号 LW40500-001A のシリカゲルを使用してください。

ご注意:

- シリカゲルを入れないと、カメラレンズやドームカバーが曇り、映像が不鮮明になる場合があります。
- 雨天時の設置作業は、雨滴が内部に入らないよう十分に注意してください。

### 4 ドームカバーをカメラ本体に取り付ける

- ねじ(4本)でドームカバーをカメラ本体に取り付けます。ドームカバーのツメ(3か所)とセンターマークをめやすに取り付けます。センターマークがカメラ本体の JVC マークの上にくる位置に取り付けてください。

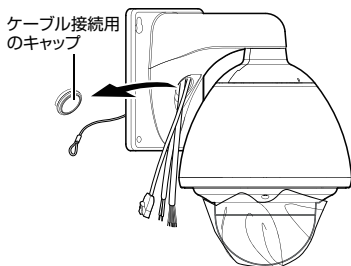


ご注意:

- ドームカバー内側に、ゴミや汚れなどがいないことを確認してから取り付けてください。
- 雨天時の設置作業は、雨滴が内部に入らないよう十分に注意してください。
- ドームカバーを取り付けるときは、4か所のねじを仮止め後、増し締めしてください。
- ねじの締め付けは、 $0.5\text{ N}\cdot\text{m} \sim 1\text{ N}\cdot\text{m}$  ( $5\text{ kgf}\cdot\text{cm} \sim 10\text{ kgf}\cdot\text{cm}$ ) をめやすにしてください。締め付けが不十分な場合、水が浸入しドームカバーがくもるおそれがあります。

### 5 ケーブル接続用のキャップをはずす

- カメラ本体のアーム部分のキャップをはずします。



### 6 ケーブル接続用の穴からケーブル類を出す

- カメラ本体から出ているケーブル類(落下防止ワイヤーを除く)をケーブル接続用の穴から出します。

# カメラ本体の取り付け (VN-H657WP)

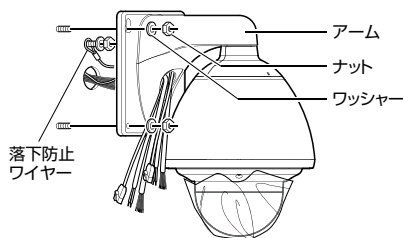
## 1 落下防止ワイヤーを取り付ける

- カメラ本体の落下防止ワイヤーを、準備で立てた落下防止ワイヤー取付用のアンカーボルトに取り付けます。
- 落下防止ワイヤーは、ナットとワッシャーでしっかりと固定します。

## 2 壁から出したケーブル類をケーブル接続用の穴から出す

## 3 カメラ本体を壁に取り付ける

- カメラ本体を、準備で立てたカメラ本体取付用のアンカーボルトに取り付けます。
- カメラ本体は、ナットとワッシャーでしっかりと固定します。



ご注意：

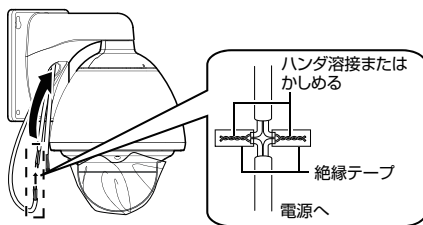
- 本機の質量は、約 5.6 kg あります。落下には十分に注意して取り付け作業を行なってください。
- 設置時は、安全のため、アーム部をつかんで作業してください。
- ナットとワッシャーには、取り付け後、塗装するなどの防錆処理を施してください。

## 4 電源ケーブルを接続する

- AC24 V 電源で電源供給する場合は、電源ケーブルを接続してください。
- PoE plus で電源供給する場合は、電源ケーブルの接続は不要です。次の手順へお進みください。

(P26 [LAN ケーブルを接続する])

- 電源ケーブルを接続したあとに、防水テープ（融着）を巻き付けます。
- 接続が完了したら、電源ケーブルをカメラのアーム内部に押し込みます。



防水テープ（融着）で巻く

AC24V と接続する場合の電源ケーブルについて（参考値）

導体直径(mm)	最大接続距離(m)
Φ1.0 以上	20
Φ1.6 以上	60
Φ2.0 以上	100
Φ2.6 以上	180

メモ：

- 工場出荷時は IP アドレスが 192.168.0.2 に設定されています。

ご注意：

- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。
- 電源ケーブルと LAN ケーブルの両方から電源が供給された場合、電源ケーブルからの電源が優先されます。
- 同一 LAN 環境下で、工場出荷時のカメラを複数台同時に電源投入すると、IP アドレスの重複がおり、正しくアクセスできなくなります。JVC-VN-IP 設定ツール（付属の CD-ROM 内）を使用して設定するか、あるいは 1 台ずつ電源を投入し、重複しない IP アドレスを設定してください。
- 電源ユニットに TK-A241 を使用する場合は、“OUTPUT1(MAX 3.2 A)”に接続してください。“OUTPUT2(MAX 1 A)”または“OUTPUT3(MAX 1 A)”に接続すると電流容量が不足することがあります。TK-A241 の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 電源ユニットに TK-A241 を使用する場合は、ユニット 1 台につき本機 1 台のみ使用可能です。

## 注意

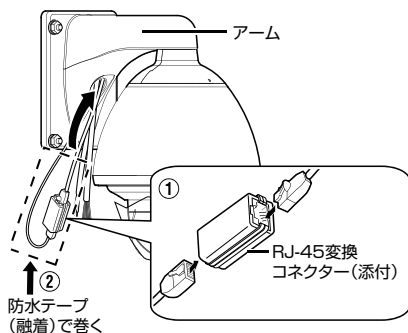
本機に電源を供給するには、AC24 V 50 Hz/60 Hz、または、PoE Plus (IEEE802.3at Type2) を使用します。正しい電圧で使用してください。AC24 V は必ず一次電源から絶縁されたものを使用してください。

定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかにご相談窓口へ連絡してください。

定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。速やかにご相談窓口へ連絡して点検(有償)を受けてください。

## 5 LAN ケーブルを接続する

- 添付の RJ-45 変換コネクターを使用し、LAN ケーブルでハブまたはパソコンに接続してください。
- ハブに接続する場合: ストレートケーブルを使用してください。
- パソコンに接続する場合: クロスケーブルを使用してください。
- コネクター部分に防水テープ(融着)を巻き付け、LAN ケーブルをカメラのアーム内部に押し込みます。



## 使用 LAN ケーブル

- STP(シールドケーブル推奨)
- 長さ 100 m 以下
- カテゴリ 5e 以上

ご注意:

- VN-H657WP は、PoE Plus 電源使用時はヒーターが動作しません。-10 °C 以下の環境下で使用する場合は、AC24 V 電源で使用してください。
- パソコンによってはクロスケーブルを使用できない機種があります。カメラをパソコンに直結する場合には事前にパソコンの LAN 仕様を確認してください。

## 6 アラーム信号ケーブルを接続する

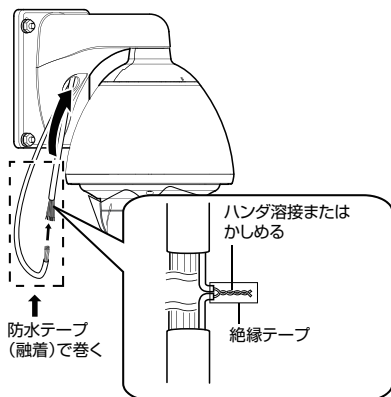
- アラーム信号ケーブルと、センサー、ブザーなどの外部機器を接続します。
- アラーム信号ケーブルの色と信号名については、以下をご覧ください。

(※ P12 [アラーム信号ケーブルの信号一覧])

- アラーム入出力について詳しくは、以下をご覧ください。

(※ P13 [アラーム入出力信号について])

- アラーム信号ケーブルを接続したあとに、防水テープ(融着)を巻き付けます。
- 接続が完了したら、アラーム信号ケーブルをカメラのアーム内部に押し込みます。



## 使用アラーム信号ケーブル

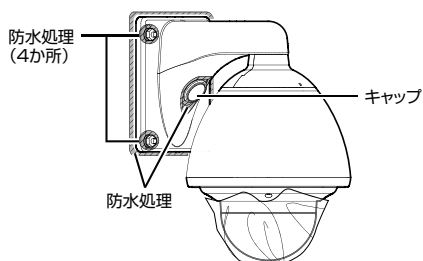
- 長さ 50 m 以下
- UL1007 または UL1015 相当品
- AWG#22 ~ AWG#18 相当品

ご注意:

- 使用しないケーブル類の先は、1 本ずつ必ず防水テープ(融着)などで、確実に防水処理を行なってください。
- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。
- 外来の雑音などによって、長さ 50 m 以下でも誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行なってください。



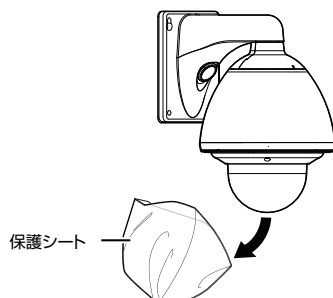
## 7 キャップを取り付け、ケーブル接続用の穴、カメラ本体取付面の周りおよびアンカーボルト締結部周辺(4か所)を防水シーリング材(GE シリコン)でふさぐ



### ご注意：

- 防水処理は確実にこなしてください。処理が不十分な場合、雨水などの浸水によって故障することがあります。
- シーリング材として GE シリコンか同等のものを使用してください。

## 8 ドームカバーの保護シートをはがす



以上でカメラの設置は終了です。このあと、カメラの IP アドレスを設定してください。  
( P28 [IP アドレスの設定手順] )

## カメラの取りはずし

### 1 取り付けと逆の手順ではずす

# IP アドレスの設定手順

※ 本項目は、Windows 7/Internet Explorer 8.0 を基本に記述してあります。

カメラの IP アドレスを下記手順で設定してください。

## 【Step1 設定用パソコンの IP アドレス設定】 P 28

設定用パソコンの IP アドレスを設定します。



## 【Step2 Internet Explorer の設定】 P 29

設定用パソコンとカメラを接続するために、Internet Explorer の設定を行います。



## 【Step3 カメラとパソコンの接続】 P 30

設定用パソコンとカメラを接続します。



## 【Step4 カメラの IP アドレスを設定】 P 31

[基本設定 1]画面の[IP 設定]項目を、“固定 IP”または“DHCP”に設定します。

ご注意：――

- 設定変更の直後にリセットあるいは電源を切らないでください。変更した設定内容が保存されず、工場出荷時の設定に戻る場合があります。

# Step1 設定用パソコンの IP アドレス設定

工場出荷時のカメラは“固定 IP”(DHCP クライアント機能がオフ)になっており、カメラの起動後、下記の IP アドレスで起動します。設定用パソコンの IP アドレスを下記と通信できるように設定してください。

(例えば IP アドレスを 192.168.0.100、サブネットマスクを 255.255.255.0)

ご注意：――

- 同一 LAN 環境下で、工場出荷時のカメラを複数台同時に電源投入すると、IP アドレスの重複がおこり、正しくアクセスできなくなります。  
JVC-VN-IP 設定ツール(付属の CD-ROM 内)を使用して設定するか、あるいは 1 台ずつ電源を投入し、重複しない IP アドレスを設定してください。

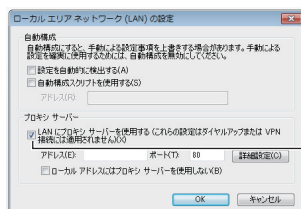
## カメラの IP アドレス(工場出荷時)

IP アドレス : 192.168.0.2  
サブネットマスク : 255.255.255.0  
デフォルトゲートウェイ : なし

# Step2 Internet Explorer の設定

## 1 パソコンで Internet Explorer を起動する 2 Internet Explorer にプロキシが設定されている場合には、次の手順で Internet Explorer のプロキシをオフにする

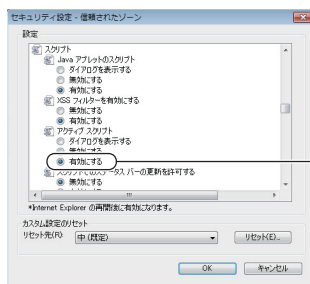
- ① [ツール]-[インターネットオプション]-[接続]-[LAN の設定]の順に選択します。
- ② [ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ウィンドウの[プロキシサーバー]内の[LAN にプロキシサーバーを使用する]のチェックマークをはずします。



チェックマークをはずす

## 3 Internet Explorer でアクティブスクリプトが有効になっていない場合には、次の手順で有効にする

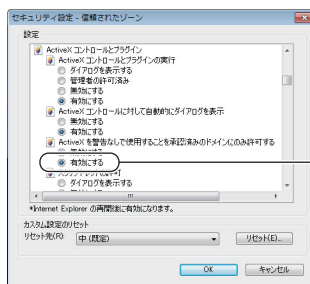
- ① [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ]で、[信頼済みサイト]を選択します。
- ② [信頼済みサイト[サイト]]ボタンをクリックし、[このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする]のチェックマークをはずします。
- ③ カメラの URL をゾーンに追加します。カメラが工場出荷時の設定のときは、次の URL をゾーンに追加します。  
<http://192.168.0.2>
- ④ [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ]で、[信頼済みサイト]を選択し、[レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックします。
- ⑤ [セキュリティの設定]ウィンドウから[スクリプト]-[アクティブスクリプト]の[有効にする]を選択します。



[有効にする]を選択

## 4 Internet Explorer で ActiveX コントロールとプラグインが有効になっていない場合には、次の手順で有効にする

- ① [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ]で、[信頼済みサイト]をクリックします。
- ② [レベルのカスタマイズ]ボタンを選択し、[セキュリティの設定]ウィンドウを開きます。
- ③ [ActiveX コントロールとプラグイン]の全項目を[有効にする]にします。また、[その他]にある[サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する]の[有効にする]を選択します。



[有効にする]を選択

## 5 ポップアップブロックを無効にする

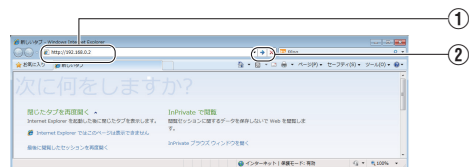
Internet Explorer でポップアップブロックが“有効”になっていると、カメラを接続することができません。その場合には下記手順で、ポップアップブロックを“無効”にしてください。

- ① [ツール]-[ポップアップブロック]-[ポップアップブロックを無効にする]を選択すれば、すべてのサイトが許可されます。
- ② 本機などの特定のサイトだけ許可したい場合には[ツール]-[ポップアップブロック]-[ポップアップブロックを有効にする]を選択します。
- ③ [ツール]-[ポップアップブロック]-[ポップアップブロックの設定]を選択し、[ポップアップブロックの設定]ウィンドウを開きます。開いたウィンドウに許可する Web サイトのアドレスとしてカメラのアドレスを追加します。

## 6 プラグインツールを Internet Explorer に入れている場合、プラグインツールのポップアップブロック機能も無効にする

# Step3 カメラとパソコンの接続

## 1 Internet Explorer を起動する

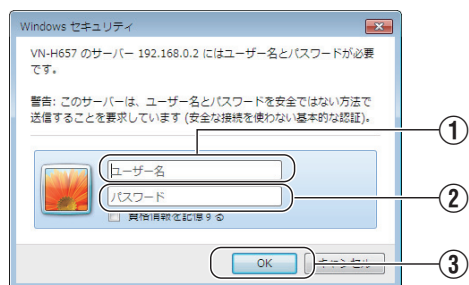


- ① IP アドレス[http://192.168.0.2] (例:工場出荷時)を入力します。
- ② [→]をクリックします。

メモ:

- Internet Explorer でインターネットへのアクセスにプロキシサーバーが設定されていると、直接指定ができない場合があります。そのときは、Internet Explorer のプロキシ設定の変更を行ってください。
- 統合ビューワーを経由しないで[基本設定 1] ページを開く場合は Internet Explorer のアドレス欄に[基本設定 1]ページの URL を入力します。  
http://192.168.0.2/cgi-bin/display.cgi?basicmenu1.html
- [セキュリティ警告]画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックして先へ進んでください。

## 2 ユーザー名、パスワードを入力する (“admin”でログインします)



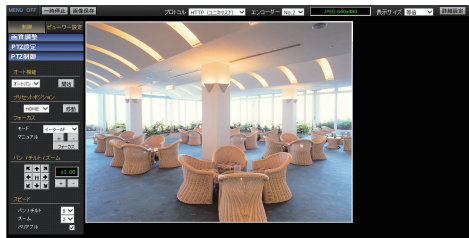
- ① ユーザー名を入力してください。(工場出荷時は“admin”)
- ② パスワードを入力してください。(工場出荷時は“jvc”)
- ③ クリックしてください。

メモ: \_\_\_\_\_

- [セキュリティ情報]画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックして先へ進んでください。

### 3 カメラの統合ビューワーのインストール

- Internet Explorer で最初に統合ビューワーを表示しようとする、統合ビューワーのプラグインソフトウェアが本機からダウンロードされて、パソコンにインストールされます。統合ビューワー(IntegratedViewer.cab アドオン)のインストール画面が表示されたら、画面に従ってインストールしてください。
- インストールが終了すると、統合ビューワーが表示されます。



#### カメラの IP アドレスがわからない場合

カメラの IP アドレスがわからない場合、パソコンでアクセスして設定・変更することができません。IP アドレスを知る手段としては、以下があります。

- 付属 CD-ROM 内の[TOOL\_J]フォルダにある“JVC-VN 検索ツール”を使用して、LAN 内のカメラを検索することができます。
- ※ [JVC-VN 検索ツール]の詳細については、[TOOL\_J]フォルダにある“README”ファイルをご覧ください。

メモ: \_\_\_\_\_

- 本機は電源投入後、パン/チルト/ズーム/フォーカスの初期動作を行います。初期動作が開始されるまでに 90 秒程度かかりますが、故障ではありません。
- 統合ビューワーがパソコン上で動作するために必要な設定は Cookie に保存されます。
- Cookie に保存される設定は、表示対象として選んでいるエンコーダの番号や表示サイズが等倍か可変かなどの統合ビューワーの動作に関わる設定であり、カメラの動作に関わる設定は Cookie に保存されません。

## Step4 カメラの IP アドレスを設定

### 1 統合ビューワーの[詳細設定]をクリックする



### 2 [基本設定 1]ページが表示される



#### ① [ネットワーク]項目を設定してください。

- “固定 IP”に設定する場合:  
[ネットワーク]項目を“固定 IP”にし、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]の欄に設定したい値を入力してください。
- “DHCP”に設定する場合:  
工場出荷時は“固定 IP”(DHCP クライアント機能がオフ)になっています。DHCP サーバーから IP アドレスを割り当てる場合は、DHCP サーバーを LAN に接続し、カメラの[ネットワーク]項目を“DHCP”に設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。  
カメラに割り当てられる IP アドレスについてはネットワーク管理者にお尋ねください。

ご注意: \_\_\_\_\_

- DHCP サーバーからカメラの MAC アドレスへ割り当てる IP アドレスが、毎回同じになるよう DHCP サーバーの設定を行なってください。上記設定を行わないと、接続できない場合があります。

② [タイムゾーン]を選択してください。

③ クリックしてください。

メモ: \_\_\_\_\_

- ネットワークの設定については、ネットワーク管理者にご相談ください。
- Internet Explorer のアドレスバーに下記の URL を入力すると、Step 3 の手順 2 にて“admin”でログイン後、統合ビューワーを経由せずに[基本設定 1]設定画面を開くことができます。

例: <http://192.168.0.2/cgi-bin/display.cgi?basicmenu1.html>

- [セキュリティ警告]画面が表示されたら[はい]ボタンをクリックし、先に進んでください。

### 3 確認の画面が表示されたら[OK]ボタンをクリックする

- 本機は新しい IP アドレスで再起動します。再起動には約 1 分かかります。

メモ: \_\_\_\_\_

- カメラの IP アドレスが変更されたため、このパソコンからアクセスできなくなる場合があります。引き続き同じパソコンからカメラへアクセスする場合は、パソコンの IP アドレスを設定し直してください。

#### 開いた画面の表示や構成がおかしい場合

以下の手順でパソコンの設定を確認してください。

- ① [スタート]-[コントロールパネル]-[デスクトップのカスタマイズ]を開く
- ② [ディスプレイ]の[画面の解像度の調整]を開く
- ③ 解像度が使用しているモニタサイズ(推奨)になっているか確認する
- ④ 他の設定になっていた場合、[モニタサイズ(推奨)]に設定を変更し、[OK]ボタンを押す
- ⑤ [ディスプレイ設定]で[変更を維持する]ボタンを押す

## Internet Explorer を使った設定

Internet Explorer で画質設定、アラーム設定などを行います。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「Internet Explorer を使った設定」をご覧ください。

## 統合ビューワーの操作

カメラは、統合ビューワーを備えています。

Internet Explorer で IP アドレスを入力することで、統合ビューワーが起動します。統合ビューワーは PTZ 操作などができます。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「操作」をご覧ください。



# こんなときは

： 症状

： 原因と対応

## 映像が出ない / 電源が入らない

本機と電源ユニットを接続する電源ケーブルに問題はありますか？（電源ケーブルが長すぎたり、細いとケーブルの抵抗値が大きくなり正しい電圧が供給されない可能性があります。）

→本機指定のケーブル太さ・長さで接続してください。

（☞ P19 [設置・接続の準備(VN-H657)]）

（☞ P25 [カメラ本体の取り付け(VN-H657WP)]）

レンズキャップが付いたままになっていませんか？

→レンズキャップをはずしてください。

クライアントパソコンが HTTP でカメラへアクセスする場合のポート番号の指定は合っていますか？

（ポート番号が間違っている場合は、統合ビューワの各種メニューは表示されるが、映像が表示されずに“接続に失敗しました”と表示されます。）

→統合ビューワの HTTP ポートの値に、カメラのプロトコルページの HTTP サーバーポートと同じ値を指定してください。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[プロトコル]ページ」および「[ユニキャスト]に関する設定」をご覧ください。

## PoE Plus 給電機器で電源供給しても、電源が入らない

PoE Plus (IEEE802.3at Type 2 準拠)給電機器とカテゴリ 5e 以上の LAN ケーブルで接続していますか？

→ケーブルを確認してください。PoE Plus 給電機器(ハブなど)によっては、供給できるトータル電力の制限を越える台数の PoE/PoE Plus 端末機器を接続すると、電源を供給しないものがあります。PoE Plus 給電機器の取扱説明書をご覧ください。

## VN-H657WP を-10°C 以下の環境下で使用すると、カメラの電源が切れる

→PoE Plus 給電機器を使用して電源供給する場合は、ヒーターが動作しません。VN-H657WP を-10°C 以下の環境下で使用する場合は、AC 24 V 電源で接続してください。

## 一度電源が入るが、回転動作すると電源がすぐに切れる

輸送用のテープが付いたままになっていたり、異物が混入してカメラ部の回転動作を妨げていませんか？

カメラ部を回転させようとしても回転しない場合、機器の保護のため電源が切れるようになっていきます。

→輸送用テープや異物を取り除き、カメラ部が回転することを手動で確認してください。

（☞ P6 [輸送について]）

本機と電源ユニットを接続する電源ケーブルに問題はありますか？（電源ケーブルが長すぎたり、細いとケーブルの抵抗値が大きくなり正しい電圧が供給されない可能性があります。）

→本機指定のケーブル太さ・長さで接続してください。

（☞ P19 [設置・接続の準備(VN-H657)]）

（☞ P25 [カメラ本体の取り付け(VN-H657WP)]）

## カメラの IP アドレスがわからない

工場出荷時から変更していない場合、IP アドレスは 192.168.0.2、サブネットマスクは 255.255.255.0 です。

[IP 設定]が“DHCP”に設定されており、DHCP サーバーが存在しない LAN で起動した場合は、工場出荷時の IP アドレスで起動します。

→同じ LAN に設定されているパソコンからであれば、“JVC-VN 検索ツール”を使用して検索してください。

## カメラの設定ページを開覧できない

→Internet Explorer の設定を確認してください。また、プロキシサーバーを使用する場合は、Internet Explorer のプロキシサーバーの設定を行ってください。

## 取扱説明書に記載されている統合ビューワのメニュー項目または操作項目が見つからない

最新のファームウェアになっていますか？

→弊社の Web サイトで最新のファームウェアを確認し、古い場合は必要に応じて、ファームウェアのアップデートを行ってください。

（☞ P6 [最新情報について]）

## 統合ビューワーをインストールできない / 統合ビューワーを起動すると警告メッセージが出る

→Internet Explorer の設定を確認してください。  
統合ビューワーは **ActiveX** というソフトウェアコンポーネントで構成されています。はじめて統合ビューワーを使うときに **ActiveX** がインストールされますが、アンチウィルスソフトの設定によっては **ActiveX** のインストールを拒否する場合があります。そのような場合にはアンチウィルスソフトの設定を変更してから統合ビューワーをインストールしてください。

## 統合ビューワーをインストールするときに、VeriSign 社による認証が表示される

統合ビューワーには VeriSign 社の電子署名が行われています。  
パソコンがインターネットに接続されているネットワーク環境では、VeriSign 社の認証によって統合ビューワーの真正性を確認できるようになっています。

## TCP 送信される映像が再生されない

カメラが TCP 送信できる映像の最大本数は 40 で、1 台のカメラへ接続できる統合ビューワーは最大で 20 個となります。

[JPEG 配信] の [優先度] が “フレームレート優先” モードに設定されていると、クライアントから要求されたフレームレートを維持しますが、最大配信数が少なくなります。

## 表示される映像のフレームレートが低い

→統合ビューワーを用いている場合は、統合ビューワーの設定を確認してください。

ネットワークの帯域が狭い場合には、フレームレートが制約されます。

[JPEG 配信] の [優先度] が “クライアント数優先” モードに設定されている場合、配信要求が増えると、設定したフレームレートより低いフレームレートで配信されます。

配信性能を越えた場合には、配信データ量の上限に収まるようにフレームレートを低く抑える配信をします。

## マルチキャストの映像が再生されない

→カメラの [マルチキャスト] ページから手動でマルチキャストを送信開始してください。  
詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[マルチキャスト] ページ」をご覧ください。

→統合ビューワーでマルチキャスト受信する場合、カメラの [マルチキャスト] ページの [宛先アドレス] および [宛先ポート] が、統合ビューワーの [マルチキャスト IP アドレス] および [マルチキャストポート] と一致しているか確認してください。またマルチキャストは IGMPv2 に対応したネットワークを使用してください。  
詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[マルチキャスト] ページ」および「[マルチキャスト] に関する設定」をご覧ください。

Windows 7 のファイアウォールによってマルチキャストがブロックされている場合があります。その場合は下記操作で通過させることができます。

- ① [スタート]-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]を開く
- ② [Windows ファイアウォール] の [ファイアウォールの状態の確認] を開く
- ③ [詳細設定] メニューを開き、[受信の規則]-[新しい規則] を選択する
- ④ [新規の受信の規則ウィザード] で [規則の種類] の “ポート” を選択する
- ⑤ [プロトコルおよびポート] で “特定のローカルポート” にポート番号を入力する
- ⑥ [操作] で “接続を許可する” を選択する
- ⑦ [プロファイル] で適用条件を選択する
- ⑧ [名前] で “名前” に任意の文字列で登録する

複数ネットワークカードを使用しているパソコンは、カメラと接続していないネットワークカードを無効にしてください。下記の操作にて実行できます。

- ① [スタート]-[ネットワーク接続]を開く
- ② カメラに接続していない接続を右クリックして “無効にする” を選択する

## 映像表示がなめらかではない

CPU やメモリーの負荷変動、ネットワークのジッターなどの要因によって、カメラからの映像がなめらかに見えない場合があります。

→ [フレームサイズ]、[フレームレート]、[ビットレート] を下げて映像を確認してください。  
詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[エンコード] ページ」をご覧ください。

## 統合ビューワーに白い領域が現れる

一部のパソコンでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[画面の解像度の調整]-[テキストやその他の項目の大きさの変更]を“中-125%”または“大-150%”に設定すると、Internet Explorer の一部の領域が描画されず白く残る場合があります。

→その場合は、下記の設定を行なってください。  
[スタート]-[コントロールパネル]-[画面の解像度の調整]-[テキストやその他の項目の大きさの変更]で“小-100%(既定)”を選択する。

## 3次元ノイズリダクションを使用すると残像が生じる

3次元ノイズリダクション使用時は、原理上、動きのある被写体で残像が生じることがあります。故、故障ではありません。

## TCP/UDP によるアラーム通知をパソコンで受信できない

Windows のファイアウォールによってポートがブロックされている場合があります。

→使用するパソコンの Windows 環境のファイアウォールに対しては、下記操作を実行してください。

- ① [スタート]-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]を開く
- ② [Windows ファイアウォール]の[ファイアウォールの状態の確認]を開く
- ③ [詳細設定]メニューを開き、[受信の規則]-[新しい規則]を選択する
- ④ [新規の受信の規則ウィザード]で[規則の種類]の“ポート”を選択する
- ⑤ [プロトコルおよびポート]で“特定のローカルポート”にポート番号を入力する
- ⑥ [操作]で“接続を許可する”を選択する
- ⑦ [プロファイル]で適用条件を選択する
- ⑧ [名前]で“名前”に任意の文字列で登録する

→使用するネットワークネットに設けられたファイアウォールや上記の操作で問題を解決できない場合には、ネットワーク管理者または設置業者に相談してください。

## FTP サーバーに記録したファイル名が文字バケする

→ファイル名に全角文字を使用する場合は、文字コードが EUC-JP の FTP サーバーを使用してください。

## 映像保存ファイルがパソコンに保存されない

→Internet Explorer を管理者として実行してください。下記の操作にて実行できます。

- ① Internet Explorer を右クリックする
- ② [管理者として実行]を選択する

## 自動的にパン動作をする

[オートクリーニング]が“ON”になっている場合は異常ではありません。

→[オートクリーニング]の設定を確認してください。

詳しくは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書」で「[メンテナンス]ページ」の[オートクリーニング]をご覧ください。

## PTZ などの操作ができない

ネットワークの帯域が不足している可能性があります。

→十分な帯域を確保し、“100 M Full”で運用してください。

## 動き検出、妨害検出が設定できない

検出機能を設定するとき、動き検出、妨害検出については、同時に設定することができません。すでにひとつの検出が有効になっている場合、別の検出を有効にしようとするとエラーメッセージが表示されます。

→メッセージの内容を確認し、すでに設定されている検出機能を“OFF”にしてから、再度検出を設定してください。

## 画面上に“Caution : The fan is stopped”と表示される。

内部のファンの異常です。最寄りのご相談窓口へお問い合わせください。また本機の電源を切り、使用しないでください。

# 保証とアフターサービス

## 保証書の記載内容で確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買いあげ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

## 保証期間について

保証期間は、お買いあげ日より1年間です。保証書の記載内容によって、お買いあげ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。その他詳細は保証書をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買いあげ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望に応じて有料にて修理いたします。

## 消耗部品について

下表の部品は消耗部品であり、寿命時間や回数をめやすに交換が必要です。寿命時間はめやすであり、使用環境や使用条件によって異なります。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

消耗部品	寿命のめやす
カメラモジュール ズーム動作 フォーカス動作	約 200 万動作 約 400 万動作
スリップリング	約 500 万動作
ファン	約 5 万時間
ヒーター用リレー (VN-H657WP)	約 10 万動作
細線同軸ケーブル	約 300 万動作

※ ファンは5年で交換してください。

## アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買いあげ販売店、または別紙で相談窓口案内をご覧ください。うえ、最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

お買いあげ販売店、またはご相談窓口に次のことをお知らせください。

品名	: HD ネットワークコンビネーションドームカメラ
型名	: VN-H657 VN-H657WP
お買いあげ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

## 商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

# 仕様

## ■VN-H657/VN-H657WP 共通

### 総合

- アラーム入力 : 無電圧 a 接点入力、NPN オープンコレクタ入力、ローレベル、ラッチ/モーメンタリ (500 ms 以上) (ローレベル時回路電流 1 mA、ハイレベル時印加電圧 DC3.3 V)
- アラーム出力 : NPN オープンコレクタ出力 (許容印加電圧 DC 20 V 許容流入電流 25 mA)
- プリセットポジション数 : 最大 100

### カメラ部

- 撮像素子 : 1/2.8 インチ CMOS
- 最低被写体照度 : 0.7 lx (typ.) (50 % 出力, AGC High, WIDE 端, ブラックレベル Normal, 1/30)
- 白黒時 : 0.3 lx (typ.) (50 % 出力, AGC High, WIDE 端, ブラックレベル Normal, 1/30)
- ホワイトバランス : ATW-Wide/ATW-Narrow/ATW-Full/AWC
- 電子シャッター : 1/30, 1/50, 1/60, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000, オート(1/30-1/100), オート(1/30-1/1000), オート(1/30-1/8000), フリッカレス
- 逆光補正 : 測光エリアは 4 か所を選択可
- カラーレベル調 : 可
- 整
- エンハンス : 水平、垂直両効き (レベル調整可)

### ネットワーク部

- 画像圧縮フォーマット : JPEG、H.264 High Profile、H.264 Baseline Profile
- フレームサイズ : 1920×1080、1280×960、1280×720、720×480(D1)、640×480、640×360、352×240、320×240
- ネットワークインターフェース : 100 BASE-TX/10 BASE-T/FULL/HALF/ オートネゴシエーション対応

### LAN 規格

IEEE802.3、IEEE802.3u 準拠  
通信プロトコル : IPv4, HTTP, HTTPS, TCP, RTSP/RTCP/RTP, FTP, SMTP, DHCP, SNTP, SNMP, ICMP, UDP, IGMP, DNS, ARP

### レンズ部

- ズーム比 : 光学 18 倍, デジタル 10 倍
- 焦点距離 : 4.7 mm ~ 84.6 mm
- 最大口径比 : F1.6(WIDE 端) ~ F2.8(TELE 端)
- 絞り範囲 : F1.6(フルオープン) ~ F360 相当
- 最至近距離 : 約 1.8 m(TELE 端) 約 0.6 m(WIDE 端)

### 回転台部

- 水平回転範囲 : 360° エンドレス回転
- 水平回転速度 : 約 0.07 °/s ~ 約 400 °/s
- 垂直回転範囲 : -5° ~ 185° (水平より 5° 上 ~ 真下 ~ 水平より 5° 上)
- 垂直回転速度 : 約 0.07 °/s ~ 約 400 °/s

その他

## 総合

質量 : 約 2.0 kg  
 周囲温度 : -10 °C ~ 50 °C (動作)  
 0 °C ~ 40 °C (推奨)  
 周囲湿度 : 20 %RH ~ 90 %RH  
 (結露なきこと)

## 電源

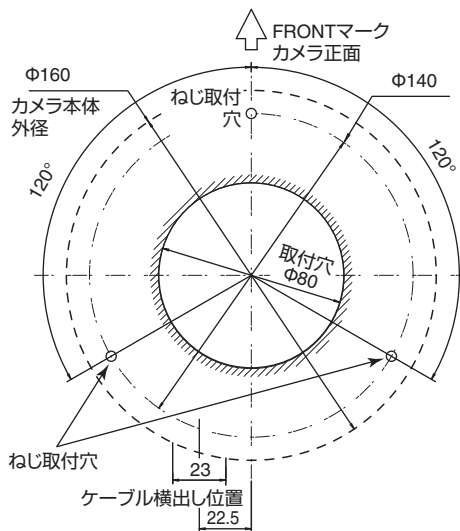
電源電圧 : AC24 V 50 Hz/60 Hz または、  
 PoE Plus  
 消費電流  
 AC24 V 電源 : AC24 V 1.3 A  
 消費電力  
 PoE 電源 : PoE Plus 18 W

## 添付物・付属品

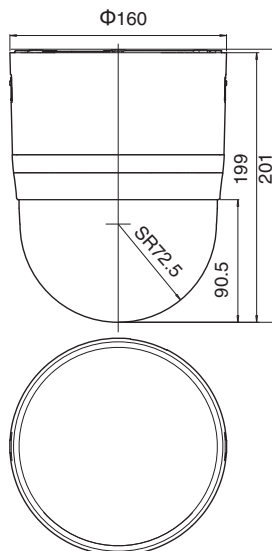
取扱説明書(設置/IP 設定編):1  
 安全上のご注意:1  
 保証書:1  
 ご相談窓口案内:1  
 テンプレート:1  
 CD-ROM:1  
 ワイヤークランプ:1

その他

## 天井取付穴[単位:mm]



## 外形寸法図[単位:mm]



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

## 総合

質量 : 約 5.6 kg

周囲温度

ヒーター使用時: -40 °C ~ 55 °C (動作)

(※) -30 °C ~ 40 °C (推奨)

ヒーター未使用: -10 °C ~ 55 °C (動作)

時 0 °C ~ 40 °C (推奨)

周囲湿度 : 20 %RH ~ 90 %RH

(結露なきこと)

防塵・防水性 : IP66 (JIS C 0920)

※ ヒーター使用時は、AC24 V を接続してください。

※ 低温 (-40 °C ~ -20 °C) の環境下で電源を入れた場合、内蔵のヒーターによって内部が温まるまでのあいだ (最長 2 時間) は、カメラにアクセスできません。

## 電源

電源電圧 : AC24 V 50 Hz/60 Hz または、PoE Plus

消費電流

AC24 V 電源 : AC24 V 2.5 A

消費電力

PoE 電源 : PoE Plus 21 W

## 添付物・付属品

取扱説明書 (設置/IP 設定編) : 1

安全上のご注意 : 1

保証書 : 1

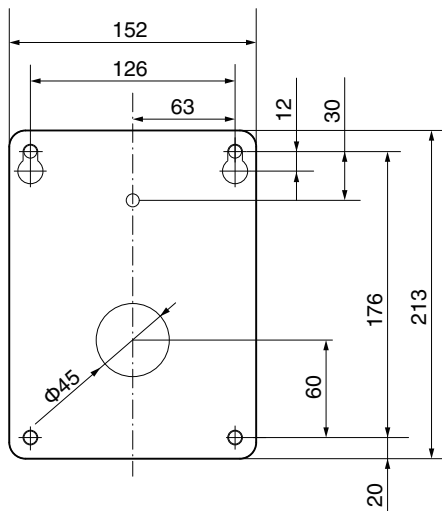
ご相談窓口案内 : 1

CD-ROM : 1

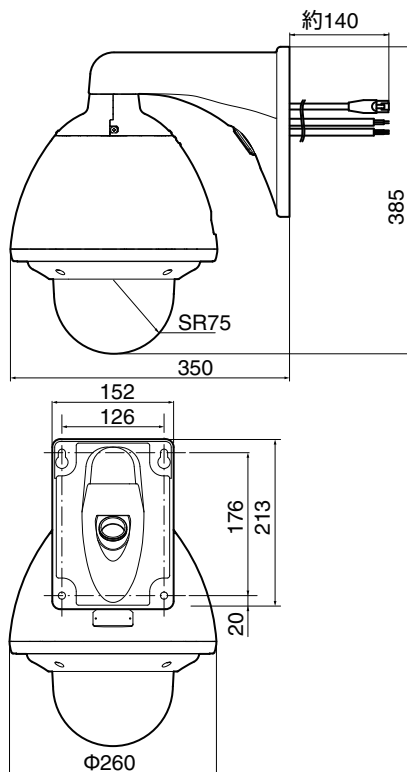
RJ-45 変換コネクタ : 1

シリカゲル : 3

壁面取付穴 [単位: mm]




外形寸法図 [単位: mm]



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。



**JVCケンウッド  
カスタマーサポートセンター**

 **0120-2727-87**

携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950 [代表]

FAX(045)450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

**株式会社 JVCケンウッド**

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12